

【平成28年度 活動報告】

- ★4月13日 厚生労働省会議室にて。第4回アレルギー疾患対策推進協議会へ委員として出席。
- ★4月16日 NHK Eテレより熊本地震に関し、アレルギー疾患対策で、電話取材を受ける。
- ★5月29日 平成28年度春季講演会アトピー性皮膚炎・ぜんそく「的確な診断と治療最前線」を、総会も併設して開催。
[後援：東京都、(公社)日本医師会、(一社)日本アレルギー学会、(公財)日本アレルギー協会、(独)環境再生保全機構、(公財)日本皮膚科学会東京支部]
総会 平成27年度の活動実績・決算報告、28年度活動計画が承認。
第一部 講演1「アトピー性皮膚炎治療のゴールー外用剤の使い方とセルフコントロール」
関西医科大学 皮膚科学講座准教授 神戸 直智先生
講演2「喘息 気管支の炎症といわれても・・・」
帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科教授 幸山 正先生
講演3「主治医が知りたい患者の情報」
喘息部門 ふれあい横浜ホスピタル 院長 坂本芳雄先生
アトピー性皮膚炎部門 東京通信病院 副院長兼皮膚科部長 江藤隆史先生
第二部「講師を囲んでのQ&A」参加者からの個別質問に講師・常任顧問が回答。
- ★4月24日 日本経済新聞全国版「日曜に考える医療」に活動紹介記事が4週連載。
- ★5月11日 日本アレルギー学会事務局にて、アレルギー疾患対策推進協議会に出席。
- ★5月26日 「アレルギー患者の声を届ける会」を開催し出席。
- ★5月28日 中野サンプラザにて「患者の声協議会」第35回勉強会『患者申し出療養』に出席。
- ★6月17日～19日 第65回日本アレルギー学会学術大会ブースに出展。
- ★6月21日 厚労省第5回アレルギー疾患対策推進協議会へ委員として出席。
- ★7月22日 厚労省第6回アレルギー疾患対策推進協議会へ委員として出席。
- ★8月13日 当会事務所にて アトピー性皮膚炎夏休み患者交流会を開催。
- ★8月23日 当会事務所にて 喘息夏休み患者交流会を開催。
- ★9月14日 東京都健康プラザハイジアにてアレルギー疾患患者や家族への相談や支援を行う保健・医療・福祉関係者へ「東京都成人のアレルギー疾患に関する相談実務研修」にて講演。
- ★9月15日 厚労省第7回アレルギー疾患対策推進協議会へ出席。
- ★9月21日 参議院会館にて内閣総理大臣補佐官 参議院議員 衛藤晟一氏とアレルギー問題で懇談。
- ★9月28日 グラクソ・スミスクラインの社員研修会「薬を届けることの価値を患者さんから学ぶ」にて患者の立場からの講演を行なう。
- ★10月13日 第6回アレルギー患者の声を届ける会に出席。
- ★10月19日 日本経済新聞夕刊にアレルギー疾患対策推進協議会にかかわる記事が載り、患者会代表委員としての発言が掲載。
- ★11月13日 平成28年度秋季講演会「患者必見！アトピー・ぜんそく最新治療法」を、フォーラムミカサ エコにて開催。
[後援：東京都・(公社)日本医師会 (一社)日本アレルギー学会・(公財)日本アレルギー協会・(独法)環境再生保全機構・(公社)日本皮膚科学会東京支部]
第一部 講演1「アトピー性皮膚炎治療の現在と未来」
東京大学大学院 医学系研究科皮膚科学 准教授 菅谷 誠先生
講演2「アレルギーって何？ー知っておいて損はないアレルギーのあれこれー」
横浜市立みなと赤十字病院 センター長 中村 陽一先生
講演3 希望を見つけた私の体験ーアトピー・喘息体験発表
喘息部門：桜井修子さん アトピー性皮膚炎部門：田口裕之さん
第二部 「講師を囲んで Q&A」参加者からの個別質問に、講師・常任顧問が回答。
- ★11月19日 神奈川県民ホールにて、「アレルギーのもとを断つ！」で患者の立場から講演。
- ★12月2日 国のアレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針が取りまとめられ、現状の課題として不適切な治療を受けたアトピー性皮膚炎患者の取材を受けNHKニュースで放映された。
- ★12月21日 サノフィ(株)社員研修「アトピー性皮膚炎患者さんの声をお聞きする」にて患者の立場から講演。

- ★ 1月20日 都庁にて開催のアレルギー疾患対策検討委員会に出席
- ★ 1月28日 京都国際会館にて開催されたアトピー性皮膚炎治療研究会第22回シンポジウムにて「アトピー性皮膚炎とともに自分らしく生きるために」の患者の立場からの講演を行う。
- ★2月7日 月刊誌「健康365」に標準治療で良くなったアトピー性皮膚炎患者のこと、当会の活動内容について取材を受けた。(3月15日発行)
- ★2月19日 日本アレルギー協会主催中央講演会にて当会ブースを設置し活動紹介を行う。
- ★2月25日 喘息実践講座と患者交流会を開催
- ★2月26日 アトピー性皮膚炎と実践講座と患者交流会を開催
- ★3月22日 花王(株)開発研究員向け講演会にて患者の立場からの講演を行なう。

【その他通年事業】

- ★ 月刊誌「あおぞら」を毎月発行し、会員等への最新治療時の情報提供。
- ★ 電話・メール・FAX・来所等による療養相談が年間187件(うちメール相談70件)あり、相談に対し、ピアカウンセリング、患者の立場からの助言、専門医の紹介などの対応を実施。
- ★ 講演会での講演を普通会员の希望者・WEB会員に動画で配信。
- ★ 講演会や実践講座の開催を5大新聞に掲載し、一般の方々の参加を募ることにより、社会全体へ啓発。
- ★ ホームページ・Facebookの更新を随時行い、喘息やアトピー性皮膚炎に悩む多くの方に最新情報と当会活動を発信。
- ★ メールマガジンを毎月発行し、多くの患者に情報提供を行なった。(メールマガジン会員375名)
- ★ イオン主催の「黄色いレシートキャンペーン」の参加を継続。

第3号議案

【29年度事業計画】

1. 患者による療養相談
毎週火曜・土曜日に電話等による療養相談に応じ(メール相談は随時)、ピアカウンセリングや患者の立場からの助言、専門医の紹介等を行うことによりアレルギー疾患患者やその家族のサポートを行う。
2. 月刊紙「あおぞら」の発行
気管支喘息やアトピー性皮膚炎等についての正しい知識を広め、患者の方々のQOL向上に寄与することを目的として機関紙を発行する。
3. 専門医による講演会の開催
疾病についての正しい知識の普及と最新治療法の情報を提供するため、著名な専門家を講師に迎え、講師に直接質問もできるQ&Aやパネルディスカッションも併設して年2回開催する。
4. 患者交流会の開催
当会の事務所において、患者同士の情報交換や悩みを話し合う場として毎月第三土曜日に開催する。
5. アレルギー週間協賛行事の開催
アレルギー週間において、実践講座等の勉強会を開催する。
6. ホームページ・Facebookの運営
ホームページを運営し、インターネットを通じて患者に必要な正しい情報を提供する。
7. メールマガジンの発行
メールマガジンを発行し、会員外にも広く正しい情報の提供を行う。
8. 患者会として社会への情報発信
患者の立場からの意見を患者代表として学会やマスコミ等に提言を行う。
9. 他団体・企業との啓発活動
他の患者会や団体および企業との交流を深め、アレルギー性疾患に関する幅広い啓発活動等を行う。
10. 創立50周年へ向けて
創立50周年記念行事へ向けて、検討会を発足し、準備を進める。
11. アレルギー疾患対策研究会に参画
アレルギー疾患対策と患者生活の質の向上をめざすアレルギー疾患対策研究会に参加して活動する。